

報告2

福岡PPPプラットフォーム参加者への アンケート・ヒアリング結果について

2018.6.27

福岡市財政局アセットマネジメント推進部大規模施設調整課

目次

- 1. 福岡PPPプラットフォームのこれまでの取組**
- 2. 福岡PPPプラットフォーム参加者に対するアンケート・ヒアリング**
- 3. 調査結果から見える福岡市のPPP事業**

1. 福岡PPPプラットフォームのこれまでの取組

(1) 福岡PPPプラットフォームの設立

設立時期

平成23年6月

概要

地場企業のPPPに関するノウハウ習得と事業参画に向けた競争力強化を図るため、

- 他都市の事例研究などを通じた企画提案力や事業遂行力の向上
 - 異業種間のネットワークの形成
 - 個別事業に関する情報提供と意見交換
- などをテーマとしたセミナーを継続的に展開する「常設の場」

参加者

福岡市内に本店を置く公共建築物の整備・運営に関連する企業

PPP/PFIをテーマとした常設のプラットフォームとしては**全国初**

1. 福岡PPPプラットフォームのこれまでの取組

(2)参加者の状況

総数

平成23年～平成29年度までの参加企業数

247社 (のべ 1,490社)

業種

- ・建設会社
- ・設計会社
- ・ビルメンテナンス会社
- ・造園会社
- ・不動産会社
- ・コンサルタント会社
- ・広告会社
- ・卸売・小売販売会社
- ・交通事業者
- ・電気・ガス事業者
- ・金融機関 など

1. 福岡PPPプラットフォームのこれまでの取組

(3) 内容の変化

H23年
～
H25年

<学習フェーズ>

PPP/PFIの基礎的知識の習得や先進事例研究

- ▶ 他都市実例や国・市の最新動向の紹介
- ▶ 福岡市で検討中の個別事業の紹介

○ 地場企業における事業参画の機運醸成を期待

H26年
～
H29年

<事業推進フェーズ>

個別事業の進捗を契機に、それまでの取組みに加えて、地場企業と直接意見交換を行う『官民対話』を開始

- ▶ 個別の事業に対して希望する参加企業1社ごとに官と民の対話を実施
- ▶ 市有地の有効活用に関する参加者同士の集団討議

- 市は地場企業の実情等を把握（マーケットサウンディング）
- 地場企業の事業に対する理解の深まりにより、事業参画意欲の更なる喚起と提案内容の高質化（＝公共サービスの向上）を期待
- 公有財産の価値向上に地場企業のアイデアを活用

1. 福岡PPPプラットフォームのこれまでの取組

(4) 官民対話等開催実績

■ 事業推進フェーズ (H26年度～H29年度)

H26年度	内容
第2回(8/7,8)	【概要説明・官民対話】「総合体育館整備事業」
第3回(11/4)	【概要説明・官民対話】「美術館リニューアル事業」
第4回(2/4)	【概要説明・官民対話】「科学館整備事業」
H27年度	内容
第1回(4/23,24)	【概要説明・官民対話】「中学校空調事業」
第2回(9/29,30)	【意見交換会】 テーマ「公園」
第3回(1/8,12,13)	【概要説明・官民対話】 「高宮南緑地(旧高宮貝島邸)整備・管理運営事業」
H28年度	内容
第2回(9/30)	【意見交換会】テーマ「市営住宅の将来活用地(余剰地)」
第3回(12/1,2)	【概要説明・官民対話】「第2期展示場等整備事業」
H29年度	内容
第2回(11/27,28)	【概要説明・官民対話】「早良地域交流センター(仮称)整備事業」
第3回(11/30,12/1)	【概要説明・官民対話】「第3給食センター整備運営事業」

【個別事業にかかる官民対話】



【参加者による意見交換会】



2. 福岡PPPプラットフォーム参加者に対するアンケート・ヒアリング

(1) 調査の目的

これまでの福岡PPPプラットフォーム参加企業を下記のとおり区分した結果、約半数がPPPプラットフォームへの参加を中断していることが判明

区分分けの条件			参画区分
福岡市のPPP/PFI事業 応札経験	平成28年度セミナー 参加の有無	平成28年度以前の セミナー参加の有無	
○	○	○	事業応札型
×	○	×	新規参加型
	○	○	継続参加型
	×	○	中断型



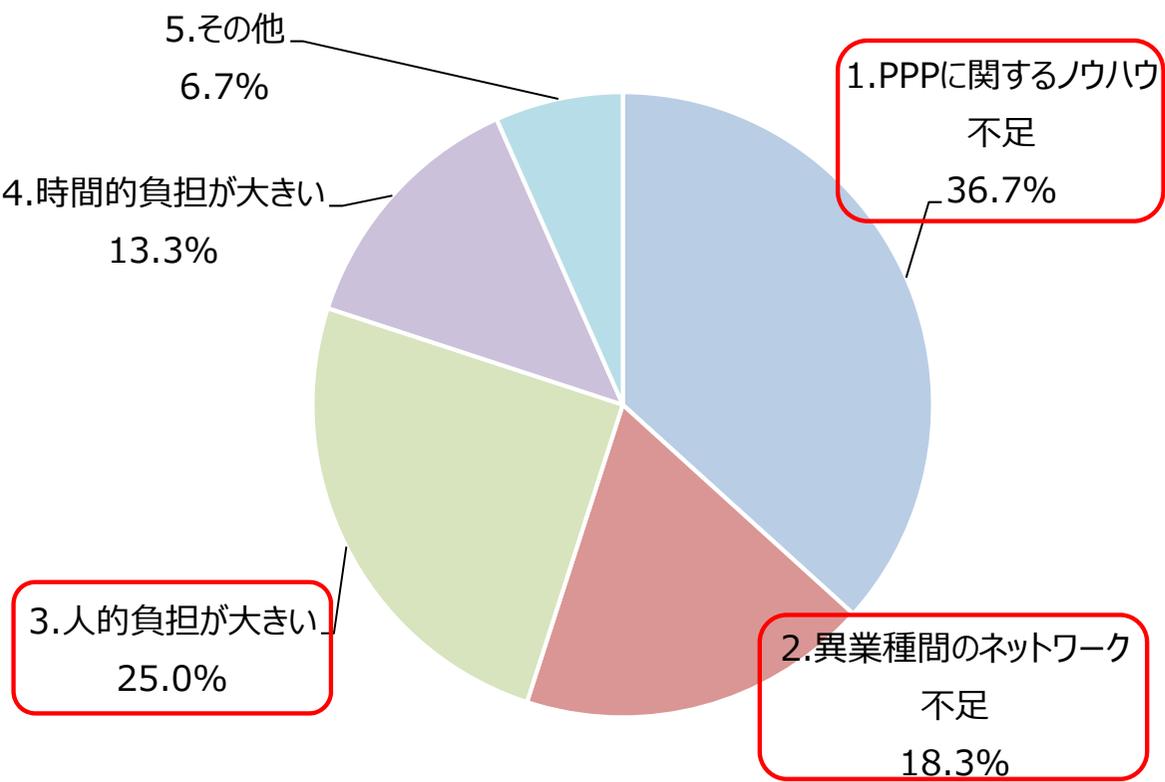
今後の福岡PPPプラットフォームの展開を考える上で、継続参加型企业と中断型企业の対比などから、運営上の課題抽出及び整理を行った。

2. 福岡PPPプラットフォーム参加者に対するアンケート・ヒアリング

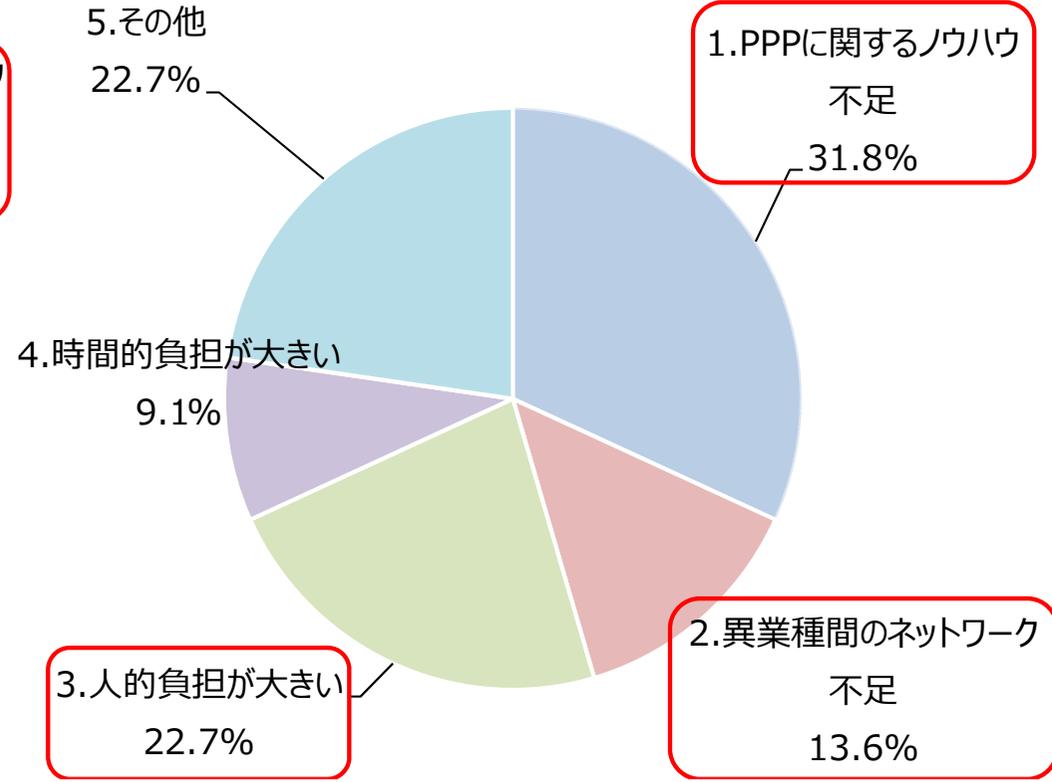
(2) アンケート結果

① PPP/PFI 事業に参画するにあたっての課題は？

【継続参加型】



【中断型】



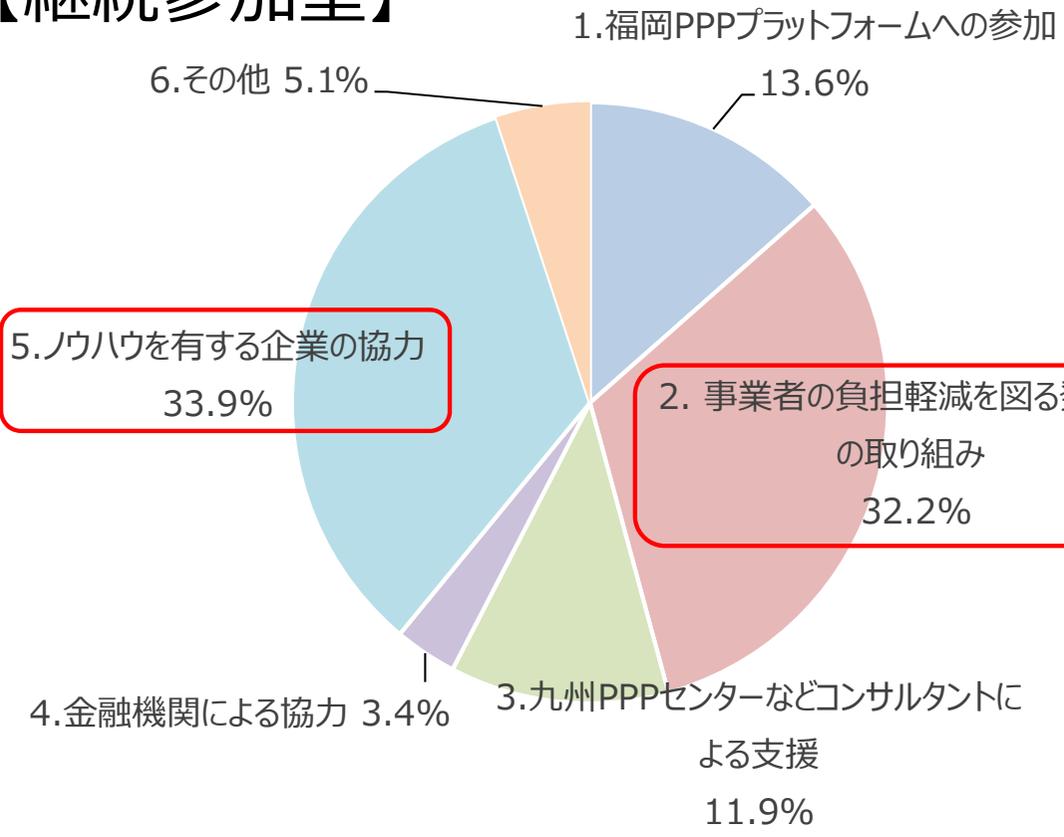
事業参画にあたっては、継続参加型及び中断型企业ともに『PPPに関するノウハウ不足』や『人的負担の大きさ』の項目が高く、提案書作成等に係るノウハウ不足や労力が課題であると回答。次いで『異業種間のネットワーク不足』についての課題認識も高い。

2. 福岡PPPプラットフォーム参加者に対するアンケート・ヒアリング

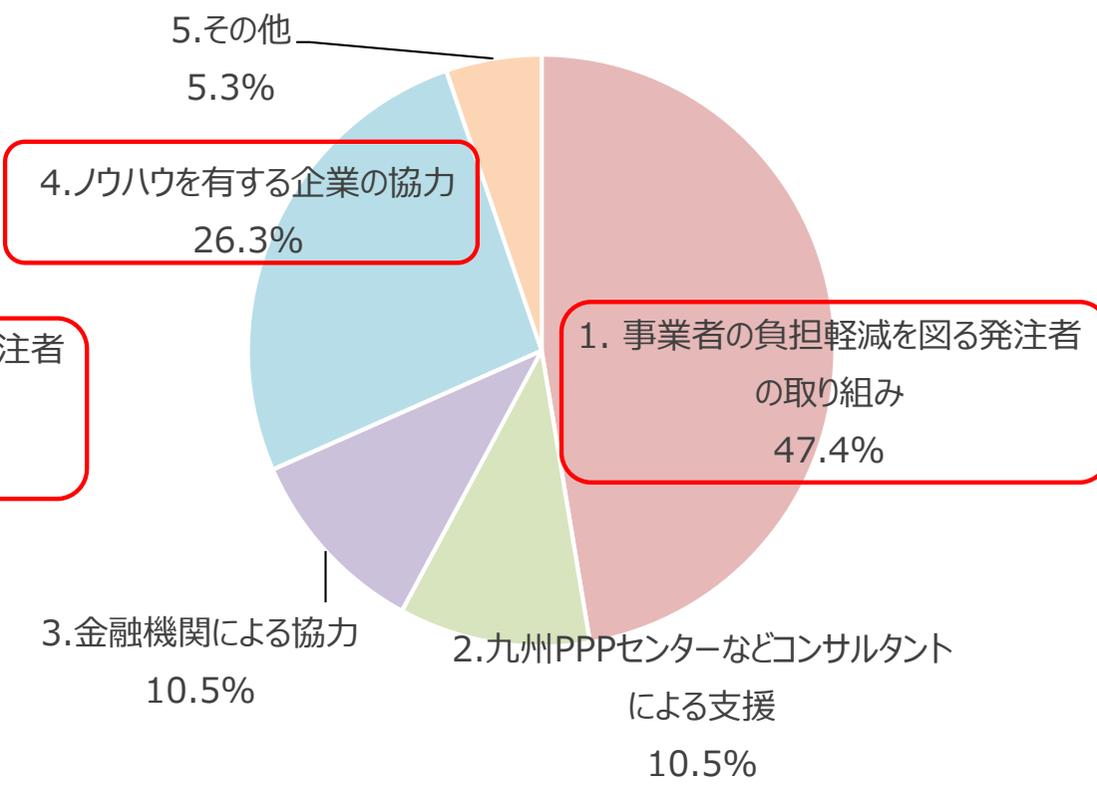
(2) アンケート結果

② PPP/PFI 事業参画に必要な支援は？

【継続参加型】



【中断型】



事業参画に必要な支援として、『負担軽減を図る発注者側取組み』の項目が高く、適切な情報発信や提案書類の簡素化などを求めている企業が多いことがわかる。

また、『ノウハウを有する企業の協力』が必要と回答した企業も多いことから、事業参画経験を有する企業とのネットワーク構築も求められている。

2. 福岡PPPプラットフォーム参加者に対するアンケート・ヒアリング

(3) ヒアリング結果

【福岡市PPP事業への参画に対する主な意見】

- 定期的に異動があり担当者変更があるため入門講座は継続して開催してほしい。
- 事業参画経験が少ない企業ほど異業種間のネットワークは少ない。
- ノウハウは大手ゼネコンに頼る部分が多く、大手ゼネコンからの声掛け待ちになっている。

【福岡市のPPP事業に対する主な意見】

- PPP/PFI事業の情報収集目的で参加しており、『ロングリスト・ショートリストの紹介』は、長期的な受注計画をたてるにあたり参考にしている。
- PPP/PFI事業に参画するには提案書作成など事業者の負担が大きいことから、官民対話などを通じて発注者として求めているポイントを示すなど、提案書の作成がスムーズに進むような情報提供を行ってほしい。
- 入札までに時間がかかるため、着工までの労務単価や物価変動に対応してほしい。

3. 調査結果から見える福岡市のPPP事業

(1) アンケート・ヒアリングでいただいた主な意見・要望

【福岡市PPP事業参画に向けて】

- ① 事業参画へのノウハウを習得したい
- ② 異業種間のネットワーク構築が難しい

【福岡市のPPP事業について】

- ① 提案に係る負担を軽減してほしい
- ② 物価等の変動に対応してほしい

3. 調査結果から見える福岡市のPPP事業

(2) 意見・要望に対する福岡市PPPプラットフォームの役割

【福岡市PPP事業参画に向けて】

- ① 事業参画へのノウハウを習得したい



ノウハウ習得への対応	
福岡市	基礎講座開催
九州PPPセンター	実践講座開催

福岡市は福岡PPPプラットフォームセミナー参加者の要望も多いPPP/PFIの初学者向けの基礎講座を積極的にプログラムに取り入れている。

また、九州PPPセンターにおいては、レベルを上げたより実践を意識した講座を開催している。

3. 調査結果から見える福岡市のPPP事業

(2) 意見・要望に対する福岡市PPPプラットフォームの役割

【福岡市PPP事業参画に向けて】

② 異業種間のネットワーク構築が難しい



ネットワーク構築への対応

ネットワーク構築への対応	
福岡市	地場異業種間ネットワーク構築支援 (プラットフォーム参加企業名簿の配布)
九州PPPセンター	地場外の企業も含めた異業種間ネットワーク構築のため、 定期的に交流会を開催

福岡市はセミナー参加企業の名簿を配布することにより、PPPに興味を示している企業の把握が出来るようにしている。

また、九州PPPセンターにおいては、民間企業間の交流促進を目的とした交流会を開催している。

3. 調査結果から見える福岡市のPPP事業

(3) 意見・要望に対する福岡市の対応

【福岡市のPPP事業について】

- ① 提案に係る負担を軽減してほしい



市が求めている事項を正確に伝えることや事業参画を検討している企業が提案書作成にあたってポイントを絞りやすくすることなどを目的とした官民対話をできるだけ多く重ねることで、提案に係る労力の削減を図っている。

提案負担軽減を目的とした対話の種類	
実施方針公表前の官民対話	福岡PPPプラットフォームで地場企業向けに実施
入札公告後の競争的対話	参加表明があったグループ向けに実施

3. 調査結果から見える福岡市のPPP事業

(3) 意見・要望に対する福岡市の対応

【福岡市のPPP事業について】

② 物価等の変動に対応してほしい



これまでは契約時点からの物価等の変動があった場合には契約価格を変更できるようになっていたが、事業者の参加表明から決定までに時間がかかることから、この間の変動に対応できるように予定価格算定時からの対応に変更することで、事業者のリスク軽減を図っている。

従前	対応後
事業契約時以降からの物価等の変動に対応	事業契約時以降からの物価等の変動に加え、 入札期間中 の物価等の変動に対応

3. 調査結果から見える福岡市のPPP事業

(4) 今後の取組み

【福岡市PPP事業への参画促進に向けて】

PPPプラットフォームを活用しながら、地場企業の事業参画に向け、事業者のネットワーク構築の取組みやノウハウの習得に向けた講座開催を引き続き実施していく。

【福岡市PPP事業について】

提案負担軽減方法について、事業者と対話等を行いながら、引き続き対応策の検討を行い、事業者のPPP事業参画促進を図る。

平成30年度に、福岡PPPプラットフォームでの説明が見込まれる事業

- 拠点文化施設及び須崎公園整備事業
- 博多区庁舎等再整備事業

など

報告2

福岡PPPプラットフォーム参加者への アンケート・ヒアリング結果について

END